

永訣の白い響

Sonorité blanche du départ éternel

奈良ゆみ ソプラノ

椎名 亮輔 ピアノ

2022年10月12日(水)15時30分開演 (15時開場)

同志社女子大学京田辺キャンパス頌啓館K101ホール 入場料無料/申込不要



photo:Brigitte Enguerand

奈良ゆみ ソプラノ

相愛大学卒業後、仏政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学びメシアンに注目される。以後パリを拠点とし欧州各地で演奏活動を展開。デュサパン、エロワ、ダオ、平義久、松平頼則などの現代作曲家に作品を捧げられ数多くの初演を行う。

メシアン『ハラウィ』をはじめ、シェーンベルク『月に憑かれたピエロ』、オハナ『三つの御花(オハナ)の物語』、中世から現代作品までア・カペラで綴った『ソロ・ヴォイス』などが高い評価を受ける。また仏政府文化省の派遣により、サティ、フランス六人組、ラヴェルなどの演奏を東欧、ロシアにて数多く行っている。さらに、西鶴の『好色一代女』のテキストを使ったジャン・クロード・エロワの作品『仏明会』や、松平頼則のモノオペラ『源氏物語』の歌手として、日本の音楽・文化が西洋の現代音楽と結びつく可能性を明示した。パリで開催されたメシアン生誕百年記念オープニング・コンサートでは『ミのための詩』を歌った。(Pf: R.ムラロ)

日本では、ドビュッシー『ペレアスとメリザンド』(フルネ指揮、東京都交響楽団)、プーランク『人間の声』(ワッセルマン演出、Pf:寺嶋陸也)、松平頼則作曲、笈田ヨシ演出『葵の上』他、2001年より大阪モーツァルト・サロンで『フランス歌曲全貌シリーズ』(pf:谷口敦子)を中心にクリエイティブなテーマでリサイタルが催されている。

CD録音も数多く、ヨーロッパでリリースされた『ドビュッシー歌曲集』(Pf: C.ラヴォワ)<Cypres>は仏音楽誌(Le Monde de la Musique)に最高推薦盤に挙げられ、メシアン『ハラウィ』(Pf: J.ゴットリーブ)は『メシアン全集』<Deutsche Grammophon>に収められている。

-PROGRAM-

ピアノ

椎名亮輔(本学教授)

東京大学大学院博士課程満期退学。パリ第8大学音楽学部博士準備課程、ニース大学哲学博士課程修了。著書に『音楽的時間の変容』、『デオダ・ド・セヴラック』、『狂気の西洋音楽史』などがある。

フェデリコ・モンポウ 《魂の歌》

エリック・サティ 《ソクラテス》

ロベルト・シューマン
《エリザベート・クールマンの詩による7つの歌 作品104》
《メアリー・スチュアート女王の詩 作品135》

フェデリコ・モンポウ 《夢の戦い(全5曲)》



-Access・お問い合わせ-

同志社女子大学京田辺キャンパス 〒610-0395 京都府京田辺市興戸南鉾立97-1
(近鉄線「興戸」駅より徒歩10分、JR学研都市線「同志社前」駅より徒歩3分(正門まで))
※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

Tel : 0774-65-8501 (学芸学部音楽学科直通)

本学HP <https://www.dwc.doshisha.ac.jp>

